

米大統領選指名争い佳境 識者インタビュー

米大統領選の候補者指名争いが佳境を迎えた。民主党ではクリントン前国務長官がサンダース上院議員をリードし、共和党では実業家のトランプ氏が主流派を抑えて指名獲得を確実にしている。11月の本選に向けた注目点や在日米軍駐留などへの影響を、日米の有識者2人に聞いた。

(聞き手・高橋 融生)

本選の焦点は接戦州

米メトロポリタン州立大准教授 マシュー・フィルナーさん



「共和党ではトランプ氏の候補指名獲得が確実だ。『移民などに関する訴えが大学教育を受けていない白人層を引きつけた。当初の共和党候補17人のなかで彼を首位に押し上げるには十分な支持層だったが、本選では有権者の多様性が増し、大卒者も増える。支持層を広げられなければ、トランプ氏の勝利は難しい』

「物議を醸すトランプ氏の発言には、在日米軍撤退なども含まれている。『彼の政策面の姿勢はすべて交渉可能なものだ。ただ制度上、米大統領は内政では制約を受ける半面、国際問題では大きな自由を与えられている。』トランプ大統領が外交方針を追求すれば不安定要因になる」

「最近ではクリントン、トランプ両氏の支持率が拮抗しているとの調査も出た。『1960〜70年代には共和、民主両党の間で有権者の支持が大きく振れ、Matthew Finer フルブライト招へい講師として横浜市立大などで講義中。米国で選挙マネジャーの経験も豊富。』

「30年前には『共和党リベラル派』や『民主党保守派』と目される大きな浮動票があったが、今では消えつつある。平均的な民主党員ではさうにリベラル化、共和党員は保守化がそれぞれ進んでいる。その結果、選挙結果は投票の出で決まりがちだ。政党にとつての最善策も、支持者に投票を促すことになっていて、対立政党の支持者を奪うアピールではなくなっている」

拓殖大教授

川上 高司さん



日本外交の多元化を

「民主、共和両党の指名争いをどう分析するか。『両党とも、内部では富裕層と貧困層の戦いになっている。少数派のエリートが多く富を握っている実態を、民主党のサンダース氏は突いてきた。共和党内のトランプ氏が指名獲得を確実にしたのも、そうした不満を取り込んだからだ。クアレンとの戦い』が始まった。内向き志向のクリントン氏が民主党の指名を得たら、サンダース氏の支持層がトランプ氏に流れ、可能性も否定できない。クリントン氏自身もメール問題で弱点を抱えており、本選の勝負は五分五分だと思ふ。両党の指名候補が今後、副大統領候補に誰を選ぶかが、結果に大きく影響するだろう』

「選挙結果が国際関係に与える影響の展望は。『民主主義を広めるといふ従来のイデオロギーが変わり、米国の『ブルジョア層との戦い』が始まった。内向き志向のクリントン氏が民主党の指名を得たら、サンダース氏の支持層がトランプ氏に流れ、可能性も否定できない。クリントン氏自身もメール問題で弱点を抱えており、本選の勝負は五分五分だと思ふ。両党の指名候補が今後、副大統領候補に誰を選ぶかが、結果に大きく影響するだろう』

「横須賀に配備された空母などの米第7艦隊にはトランプ氏でも手を付けることはできないだろうが、海兵隊や空軍の削減は考えられる。同盟相手の米軍の力が弱まれば、日本には自主的な安全保障政策の強化が求められることになる。外交の多元化やソフトパワーの強化が必要だ」

地震対策に焦る自治体

■迷走

地震で甚大な被害が出た熊本県では一部の自治体の庁舎も損傷し、行政機能に支障が出た。全国的にも、災害時の拠点となる庁舎の耐震化率は財政難などを背景に80%に届いておらず、担当者は焦りを募らせる。

「1973年完成の岐阜県各務原市の本庁舎も耐震化が済んでいない。やはり、災害時に避難所となる小中学校などの耐震化を優先してきた。昨年3月に建て替えが決まり、20年度の完成を目指す。担当者は「一朝一夕には対応できないのが現状」と話した。

■転換

伊勢湾に突き出した知多半島にある愛知県常滑市は、南海トラフ巨大地震が起きたら最大で震度7の揺れが襲うと予測される。築47年の市庁舎は耐震診断の結果、震度6強程度で崩壊する可能性があることがわかった。

市は耐震補強に向け本年度に約1300万円の基本設計費を計上し、工事完了は3年後の見通しだ。消防本部や病院、小中学校の耐震化を優先してきたと、厳しい財政の中、市庁舎は最大で震度6弱が予測される静岡県下田市。本庁舎があるのは海抜2.5以上の津波浸水域だ。築60年近くで、緊急用の発電設備もない。災害時には市内の判り易折こ処点を蓄える」と話した。

耐震補強が選択肢

コスト抑制、工期短く

熊本市などの地震を受け、湯崎英彦広島県知事は記者会見で「地震がいつでも、どこでも起きると如実に示した」と発言。庁舎管理担当者も「耐震性の低



2011年に耐震補強工事を終えた埼玉県庁

庁は11年に工事を終えた。埼玉県建設会社によると、既存の建物の外壁面にコンクリートの筋かいや制震ダンパーを取り付けるなどして耐震性を高めた。工費は約36億円。当時の試算では、建て替えに比べコストは約8分の1に抑えられた。

埼玉県の担当者は「2年の短期間で耐震補強工事が終わり、その間、業務が続けられたことにもメリットがあった」と話す。

総務省消防庁によると、災害時に拠点となる地方自治体の公

エジプト機 突然異変か

【カイロ共同】地中海に墜落したパリ発カイロ行きエジプト航空機内で、煙が検知された3分後に自動操縦装置や翼の制御システムに障害が発生したことが22日、明らかにされた。同機が地上の管制に向けて自動発信した信号に記録されており、この直後に墜落したとみられる。順調に飛行していた同機は、数分間に急激な異変に襲われた可能性が高まった。

航空専門家によると、煙の検知は機内で火災が発生した可能性を示している。しかしその原因がシートなどの機体トラブルか、爆発物などの要因かは不明だ。

エジプトのシシ大統領は22日、墜落原因には「あらゆる可能性」があるとした上で、水深3千メートルで捜索可能な潜水艦を墜落海域に派遣したことを明らかにした。原因究明に不可欠なフライトレコーダー（飛行記録装置）などの回収を急ぐ。同機が自動発信した信号などによると、同機内ではエジプト時間19日午前2時26分にトイレで煙が検知され、同27分に電子機器システム付近でも煙を検知。同29分に自動操縦装置と翼の制御システムの障害が検知され、ほぼ同時に同機はレーダーから消えた。

AP通信によると、ギリシャ側の管制が同27分に通常連絡のためパイロットと交信を試みたが、何度呼び掛けても応答はなかったという。

「から2年、ついに姿を見せた」
安部よ、聞け
田中角栄
主要100車種「実際」
イマズキ 伊勢志摩
セゴムの会長
外添
医学界の
大問題に

Yokohama F・Marinos
この前には、横浜F・マリノスがある。
~For Your Football Life~
Yokohama F・Marinos
OFFICIAL

好評発売中
Yokohama F・Marinos
OFFICIAL